

健康経営戦略マップ

作成時期：2026年3月

健康投資

各種研修実施

特定保健指導実施

相談窓口の設置

計画的な年休取得

ウォーキングイベント実施

ストレスチェック実施

従業員意識調査実施

産業保健スタッフ拡充

健康グッズの配布

健康投資の効果

健康投資施策の取り組み状況に関する指標

参加率

実施率

相談窓口の定着

取得日数

参加率

高ストレス者率

肯定的回答率

スタッフ数

配布率

従業員等の意識変容・行動変容に関する指標

・習慣的に汗をかく運動を実施する従業員の増加

・質の良い睡眠をとることを心掛ける従業員の増加

・挨拶や声掛けなど仕事のストレスを溜めないようにコミュニケーションを図る従業員の増加

健康関連の最終的な目標指標

・メンタル/フィジカル休職者の低減

・仕事/日常生活に対しポジティブで充実した心理状態にある従業員の増加

従業員の健康課題

高ストレス、運動習慣、睡眠質量、健康への対応

健康風土の醸成

健康経営の浸透状況

経営トップの発信

方針実現のための体制・環境

各事業部へ健康増進担当者の設置

サポート、組織的支援など

上司/同僚からのサポート

目標年：2027年度

KGI

・従業員意識調査における全体の肯定的回答率の向上
↓ 毎年前年実績より改善

健康経営の目標

・従業員のパフォーマンスの最大化
・心理的安全性が担保された職場環境づくり

健康経営の推進方針

従業員が自発的に健康保持・増進に取り組むことにより、自らの活力向上や生産性向上等の組織活性化を通じて事業に貢献する。

日立SISが担う役割

システム品質の高い『モノづくり力』をベースに、お客さま・社会の期待にトータルで応え、社会課題の解決に貢献する。